

魅力、歴史、未来… 語られた塩竈への想い

長期総合計画審議会と

若手職員プロジェクトチーム

第6次長期総合計画に皆さんの声を反映させるため、2月に長期総合計画審議会と、市役所若手職員プロジェクトチームが、それぞれワークショップを行いました。

長期総合計画審議会では、3つのグループに分かれ「塩竈の個性や大切にしたいもの」「望ましい今後の方向性」という2つのテーマで意見を出し合いました。各グループから意見が発表された後、まちづくりの専門家である有識者委員から講評を受けました。

また、若手職員プロジェクトチームは、若い世代の意見や発想を計画に反映させることと、職員としてのスキルやモチベーションの向上を目的として発足しました。塩竈での暮らしをテーマに、8つの「暮らし」のアイデアが提案されました。

今回は、それぞれのワークショップで出された意見などを紹介します。

長期総合計画審議会



若者を中心に魅力を高め、塩竈を出ても戻って来られる場所をつくるべき。

● 海を生かしたまちづくりが必要。

● 交通の便、市役所の分散、子育て支援、公園整備などの課題を解決していくべき。

歴史、観光・景観・食文化などの魅力ある地域資源を大切にしたい。

● 歴史を大切に、今ある魅力を磨き上げていきたい。

● 高齢者と若い世代など多世代間の交流を大切にしたい。

有識者委員から

ソフトの部分まで話がおよんだことが重要です。「モノ」だけではなく「思い出」も地域資源になるという認識まで議論が進められたと思います。

● 皆さんが思っている塩竈像が近いという印象を受けました。建物だけではなく、生業としている人も塩竈の景観です。塩竈の魅力をたくさん聞くことができました。

● 歴史・文化などの立派な土台は、ほかの地域と区別するユニークな特徴です。一つ一つの小さなつぶやきが、目に見えるようになり、みんなが良かったと相槌を打てる関係性が大切です。

若手職員が考えた暮らしのアイデア



● 豊かな水産物と地酒を身近で味わえる暮らし

● 「ここにしかない」を見つける浦戸生活

● クリエイティブがつくる豊かな暮らし

● 故郷の味が食べられる飯・飲み屋にすぐ行ける暮らし

● 美食・酒・水辺・浦戸・神社・歴史が身近にある暮らし

● 住むだけで「脳トレ」と「筋トレ」ができる暮らし

● 小さな名店に出会える暮らし

● 浦戸でのんびりと休日を過ごせる暮らし